

八幡浜市地域包括支援センター

業務継続計画 (BCP) ～自然災害編～

令和7年3月策定

目次

1.	総論	1
1.1	基本方針	1
1.2	推進体制	1
1.3	リスクの把握	1
1.4	優先業務の選定	2
1.5	研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し	2
2.	平常時の対応	3
2.1	建物・設備の安全対策	3
2.2	電気が止まった場合の対策	3
2.3	ガスが止まった場合の対策	3
2.4	水道が止まった場合の対策	3
2.5	通信が麻痺した場合の対策	4
2.6	情報システムが停止した場合の対策	4
2.7	衛生面(トイレ等)の対策	4
2.8	必要品の備蓄	4
3.	緊急時の対応	5
3.1	BCPの発動基準	5
3.2	行動基準	5
3.3	対応体制	5
3.4	対応拠点	5
3.5	安否確認	5
3.6	職員の参集基準	6
3.7	避難場所・避難方法	6
3.8	重要業務の継続	6
3.9	職員の健康管理	6
3.10	復旧対応	6
4.	他施設や地域との連携	7

【資料1】 推進体制

【資料2】 ハザードマップ

【資料3】 被害想定

【資料4】 児施設で想定される影響

【資料5】 災害時利用者一覧表(安否確認優先順位)

【資料6】 備蓄品リスト

【資料7】 BCP発動基準

【資料8】 職員の安否確認シート

【資料9】 重要業務の継続

【資料10】 事業者一覧

1. 総論

1.1 基本方針

本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

- (1)利用者の安全確保:
利用者は重症化リスクが高く、災害発生時に深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して安全の確保に努める。
- (2)サービスの継続:
利用者の生命、身体の安全、健康を守るために最低限必要となる機能を維持する。
- (3)職員の安全確保:
職員の生命を守り、生活の維持に努める。

1.2 推進体制

平常時の災害対策の推進体制

【資料1】推進体制を参照。

【資料1】

1.3 リスクの把握

(1)ハザードマップなどの確認

八幡浜市が作成しているハザードマップを参照する。ハザードマップは見直しが行われることがあるので、定期的に確認し変更されていれば差し替える。
【資料2】ハザードマップを参照。

【資料2】

(2)被害想定

「八幡浜市地域防災計画(以下、「市防災計画」という。)(【地震災害対策編】)」に記載されている地震想定の結果を参照する。【資料3】

【資料3】

【自施設・事業所で想定される影響】

【資料4】のとおり。

【資料4】

1. 4 優先業務の選定

(1) 優先する事業

<優先する事業>

- (1)総合相談事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業
- (2)新介護予防ケアマネジメント事業、介護予防支援

<当座停止する事業>

上記以外の事業

(2) 優先する業務

「八幡浜市災害対策本部事務分掌表」における保健センター分掌事務を最優先とした上で、上記優先する事業の内、相談業務、ケアマネジメント業務を優先して行う。その際には、【資料5】災害時利用者一覧(安否確認優先順位)を活用できるよう整備しておく。

【資料5】

1. 5 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

(5-1) 研修・訓練の実施

以下の教育を実施する。

(1)入職時研修

- ・時期:入職時
- ・担当:管理者
- ・方法:本計画の説明

(2)BCP研修及び訓練を行う。(全職員対象)

- ・時期:市防災訓練実施時(年1回)
- ・担当:研修担当者(係長)
- ・方法:BCPの概念や必要性の共有、机上訓練

(5-2)BCPの検証・見直し

以下の活動を定期的に行い、BCPを見直す。

- (1)教育を通じて得た疑問点や改善すべき点についてBCPを見直す。
- (2)訓練の実施により判明した新たな課題と、その解決策をBCPに反映させる。

2. 平常時の対応

平時から、計画の周知、見直し、研修及び訓練を行い、災害の発生から平時への復旧について、応急的な対処から平常回復までの対応を計画的に行い、サービス利用者への影響を最小限にとどめる。また、非常時に優先的に実施すべき業務を整理しておく。

2.1 建物・設備の安全対策

(1) 人が常駐する場所の耐震措置

八幡浜市保健福祉総合センターの施設管理については、保健センター施設管理に準ずる。

(2) 設備の耐震措置

利用者・職員が利用するスペースでは、必要に応じて設備・什器類に転倒・転落防止対策を講じる。また、不安定に物品を積み上げず、日ごろから整理整頓を行い、転落を防ぐ。

※設備等に関しては、定期的な日常点検を実施する。

(3) 水害対策

保健センターの施設保守点検に準ずる。

2.2 電気が止まった場合の対策

保健センター備蓄倉庫に備蓄されている自家発電機の使用方法等を確認しておく。優先すべき設備は、通信機器、システム(PC)、照明、冷暖房器具。

2.3 ガスが止まった場合の対策

冬場は灯油ストーブが使用できるよう、ストーブと灯油を備蓄しておく。そのほか、カセットコンロやカセットボンベの備蓄も検討する。

2.4 水道が止まった場合の対策

(1) 飲料水

飲料水の確保のため、職員は各自1人あたり、1日3ℓ×3日(最低限)を常時確保しておくこと。

(2) 生活用水

生活用水の確保については、貯水槽の確認をしておくとともに、給水用のタンクの準備と、水を使わない代替手段を準備しておく。

2.5 通信が麻痺した場合の対策

被災時は固定電話や携帯電話が使用できなくなる可能性があるため、複数の連絡手段で関係機関と連絡が取れるように準備する。

- (1)携帯電話充電器、乾電池等の確保
- (2)災害用トランシーバー、災害時優先電話などの配備
- (3)SNSの活用

2.6 情報システムが停止した場合の対策

電力供給停止などによりシステムの稼働が困難な場合に備え、介護予防支援等の利用者や、継続支援対象者の基本情報が分かる資料をカルテに保管しておく。

2.7 衛生面(トイレ等)の対策

被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性があるため、簡易トイレ等を準備しておく。

2.8 必要品の備蓄

【資料6】備蓄品リストにより、被災時に必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄する。

【資料6】

3. 緊急時の対応

3.1 BCP発動基準

「八幡浜市災害対策本部運営要領 別表第6(第8条関係)」(市防災計画【資料編】参照)の表中にある「第3配備」に記載されている基準に基づく。

【資料7】

3.2 行動基準

職員の行動基準は以下のとおりとする。
(1)地震や家族及び利用者の安否確保
(2)火災、建物崩壊など二次災害への対策
(3)利用者に対する情報発信(避難所開設状況、ライフライン情報、医療や福祉サービスに関する情報等)

3.3 対応体制

【資料1】 推進体制を参照。

【資料1】

3.4 対応拠点

緊急時対応体制の拠点は、保健福祉総合センター内、地域包括支援センターとする。ただし、建物の破損状況や災害状況に応じて、安全かつ機能性の高い場所に拠点を移動させることを検討しておく。

3.5 安否確認

(1)利用者

会計年度任用職員(介護支援専門員等、訪問相談員等)が、【資料5】災害時利用者一覧表(安否確認優先順位)により、介護予防支援等利用者や継続訪問対象者の安否確認を速やかに行う。各担当係長は、安否確認の進捗状況を把握し、適宜管理者へ報告する。

【資料5】

(2)職員

管理者は、職員の安否確認を速やかに行う。
自宅等で被災した場合、職員は各自、自身や同居家族が無事かどうか、出勤が可能かどうかについて、電話、LINE等で、管理者に自身の安否情報を報告する。

【資料8】

3.6 職員の参集基準

職員の連絡先をあらかじめ整理しておく。
正職員は、「八幡浜市災害対策本部運営要領 別表第6(第8条関係)」「(市防災計画【資料編】参照)に基づき参集する。
会計年度任用職員は、「3.1BCP発動基準」に基づき参集する。
ただし、以下のようなすぐに参集できない状況の場合は、連絡が可能になり次第、速やかに管理者へ報告し、参集ができる状態になり次第参集する。

- (1)職員の家族が死亡したとき
- (2)職員又は家族が負傷し、治療や入院の必要があるとき
- (3)家族の保育又は介護などにより在宅の必要があるとき
- (4)同居する家族の安否確認がとれないとき
- (5)職員又は家族等の住宅が被災した場合で、職員が当該住宅の復旧作業や生活に必要な物資調達に従事する必要があるとき
- (6)徒歩により参集せざるを得ない場合で、その距離が概ね5km以上のとき
- (7)自宅周辺が避難指示の対象であるとき
- (8)その他合理的な理由がある場合

【資料7】

3.7 避難場所・避難方法

市が作成しているハザードマップなどを確認し、津波、河川の洪水浸水想定区域および土砂災害警戒区域の確認、施設外の避難所と避難方法を確認、検討しておく。

3.8 重要業務の継続

被災時の厳しい状況でも、入所者・利用者の生命・健康を維持するために必ず実施しなければならない最低限の業務を「重要業務」として継続を目指す。
【資料9】重要業務の継続を参照。

【資料9】

3.9 職員の健康管理

災害発生後、職員が長期間帰宅できない状況も考えられるため、施設内に「休憩・宿泊場所」を確保する。また、参集した職員の人数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組む。

3.10 復旧対応

- (1)破損箇所の確認
破損箇所の確認のために、被害のあった箇所は写真を撮り、記録しておく。
- (2)業者連絡先一覧の整備
「市防災計画【資料編】」を参照。
- (3)情報発信(関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応)
「市防災計画」に準ずる。

【資料10】

4. 他施設や地域との連携

平常時から他施設等や地域との協力関係を築いておく。各種連絡会等を活用し、平時から関係機関との連絡体制やそれぞれの動き等の確認調整を行う。

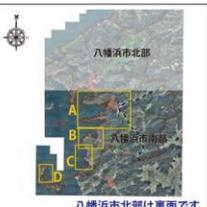
【資料1】推進体制

担当者	役割
管理者（地域包括支援センター長） ※管理者が不在の場合は、係長級の職員が代行する。	<ul style="list-style-type: none">・地域包括支援センターの統括・緊急対応に関する意思決定・庁内関係部署との連絡調整・災害の事前対策、訓練の実施
正職員（社会福祉士、保健師、事務職）	<ul style="list-style-type: none">・医療機関や他施設等、関係機関との連携・災害物資の物品管理、補充・職員の健康管理・災害対応の活動記録作成
会計年度任用職員 （介護支援専門員、ケアマネジメント支援員、訪問相談員）	<ul style="list-style-type: none">・利用者台帳の作成及び整理・利用者、ご家族、職員への情報提供及び発信・利用者に対する災害時ケアマネジメントの準備

八幡浜市 津波ハザードマップ (八幡浜市南部)

津波浸水想定は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 津波浸水想定は、最大クラスの津波発生条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を示したものです。最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性があります。
 浸水域や浸水深は、局所的な地形の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合があります。
 津波浸水想定は、浸水発生時の浸水深は、津波発生中心とした津波の到達時刻を考慮したものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所を示しています。
 津波浸水想定では、津波による川内や湖沼内の水位変化を併せて示していますが、津波の遡上高等により、実際には水位が変化する場合があります。

地震発生から避難までの行動マニュアル



- ### 凡例
- 庁舎・出張所
 - Ⓜ 警察署
 - 🚒 消防署
 - 国道 (バイパス含む)
 - 主な道路
 - 鉄道
 - 津波浸水想定区域 (5.0m ~ 10.0m 未満)
 - 津波浸水想定区域 (4.0m ~ 5.0m 未満)
 - 津波浸水想定区域 (3.0m ~ 4.0m 未満)
 - 津波浸水想定区域 (2.0m ~ 3.0m 未満)
 - 津波浸水想定区域 (1.0m ~ 2.0m 未満)
 - 津波浸水想定区域 (0.3m ~ 1.0m 未満)
 - 津波浸水想定区域 (0.3m 未満)



このマップに関する問い合わせ先: 八幡浜市総務課 (0894)-22-3111

【津波の最高水位】
八幡浜港では、9.0mに達します。

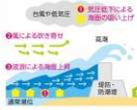
【津波の到達時間】
宇和海では、51分で津波水位が1mに達し、72分で最高津波水位となります。

八幡浜市高潮ハザードマップ

八幡浜市 南部

令和4年 3月作成

「高潮」は台風と低気圧で発生する



【高潮】は台風の接近などで、風が強くなり、気圧が低くなる時に潮が高くなる現象。
 (図の①-③参照) 長時間にわたり異常に高い潮位が続き、堤防を越え海水が入り、浸水被害を起こす。

発生の特徴

注意！

- ・河口や埋め立て地や、小さな川沿いは要注意。
- ・大潮時や高潮時に、台風が接近する際には特に警戒が必要。
- ・平成16年(2004年)8月の台風16号により、市街地が浸水する高潮被害が発生した。

想定し得る最大規模の高潮とは

■ 既往最大台風を想定

中心気圧……900hPa(室戸台風相当)
 半径・移動速度……最大吹襲風速半径73km(伊勢湾台風相当)
 移動速度73km/h(伊勢湾台風相当)
 ※最大吹襲風速半径とは、台風の中心から台風の外縁で風速が最大となる地点までの距離

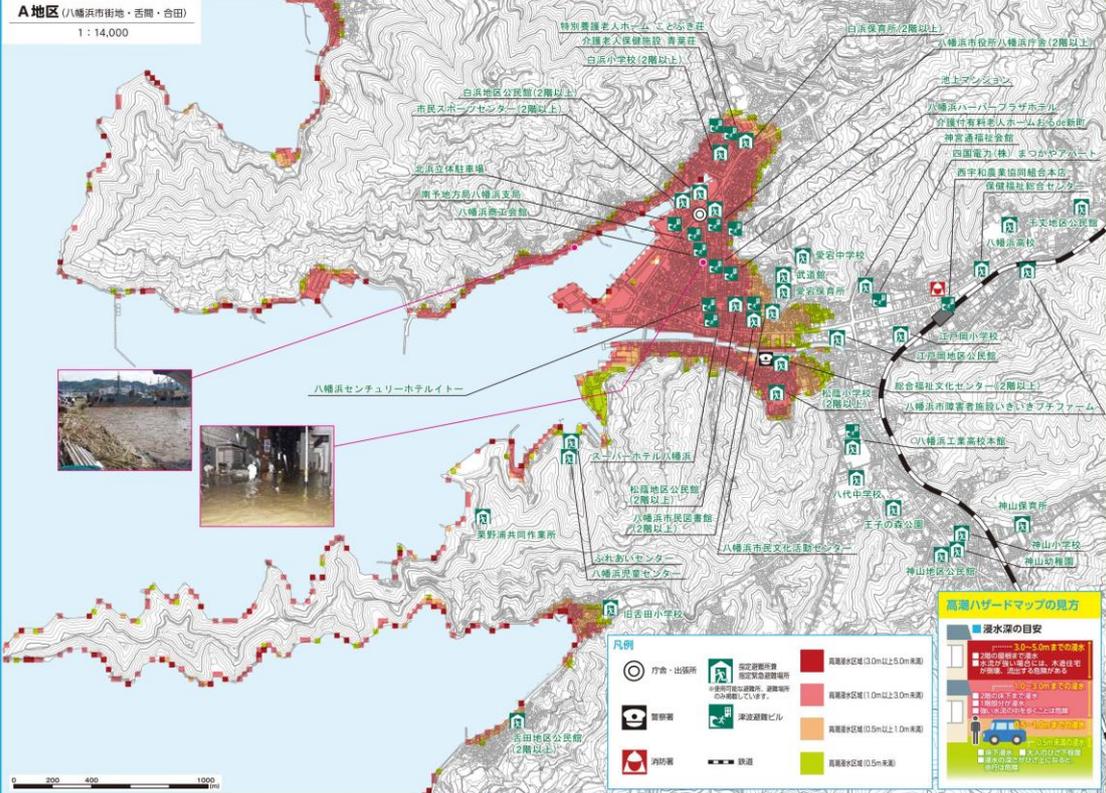
■ 台風の経路

北東進路 松山南180km
 南東進路 松山南60km



A地区 (八幡浜市街地・西側・合田)

1:14,000



高潮ハザードマップの見方

■ 浸水深の目安

- 3.0m以上の浸水
 - 2階以上の建物に浸水
 - 2階以上の建物に浸水し、水が住宅や店舗、車庫に侵入する
- 1.0m以上の浸水
 - 2階以下に浸水
 - 1階に浸水
- 0.5m以上の浸水
 - 1階に浸水
- 0.5m以下の浸水
 - 1階に浸水

■ 浸水の目安

- 浸水が浅く、被害が軽微な場合
- 浸水が深くなり、被害が深刻な場合

■ 浸水の目安

- 浸水が浅く、被害が軽微な場合
- 浸水が深くなり、被害が深刻な場合

B地区 (川上・大釜)

1:14,000



C地区 (真網代・穴井)

1:14,000



D地区 (大島)

1:14,000



我が家の防災メモ

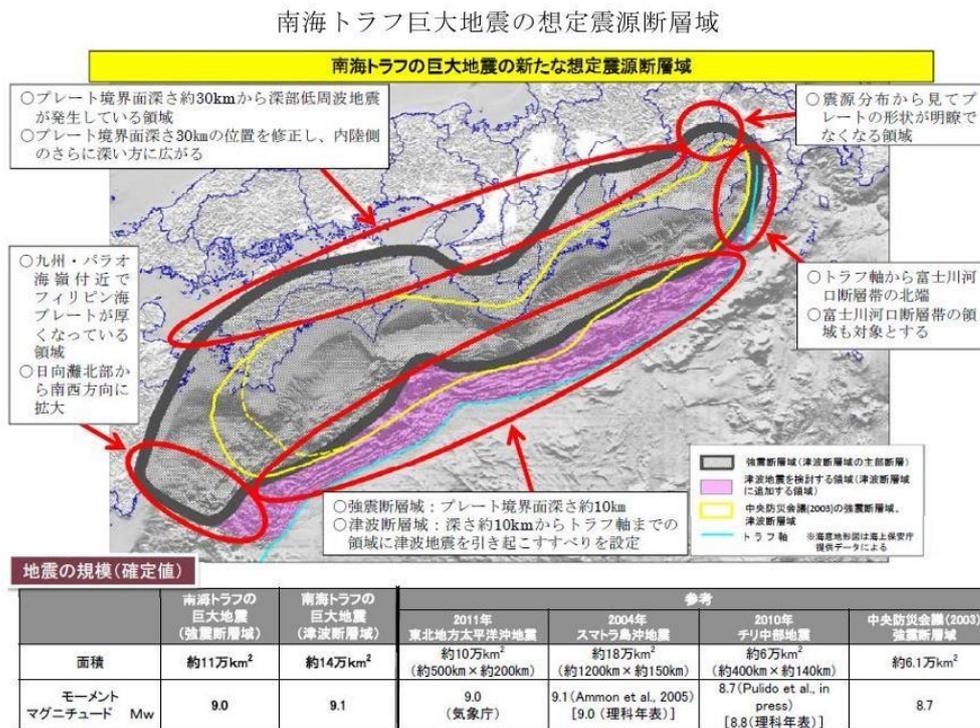
自宅の災害リスク	
浸水深	<input type="checkbox"/> 3.0m以上～5.0m未満
	<input type="checkbox"/> 1.0m以上～3.0m未満
	<input type="checkbox"/> 0.5m以上～1.0m未満
	<input type="checkbox"/> 0.5m未満
	<input type="checkbox"/> 浸水なし
避難の方法	<input type="checkbox"/> 屋内待機
	<input type="checkbox"/> 車庫避難 (隣に建庫)
	<input type="checkbox"/> 立ち退き避難
避難場所	
自宅から避難場所までの時間	

【資料3】被害想定

第5節 地震想定

国は、東日本大震災の教訓から、南海トラフにおける東海、東南海、南海地震の震源モデルを見直し、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす「南海トラフ巨大地震」の被害想定を公表した。

愛媛県においては、この「南海トラフ巨大地震」の強震断層域にはほぼ全域が含まれているほか、本県を横断する中央構造線断層帯の地震や安芸灘～伊予灘～豊後水道で発生する芸予地震にも留意する必要があることから、平成12～13年度に実施した「愛媛県地震被害想定調査」を見直すこととし、平成25年6月10日に震度分布、津波浸水想定等、平成25年12月26日に人的、物的、経済被害及び対策を講じた場合の被害軽減等を公表した。



※「南海トラフの巨大地震モデル検討会」平成25年3月31日公表

1 目的

本県に最大クラスの被害をもたらす地震の規模や人的、物的被害等の状況を明らかにすることにより、県や市の地震防災・減災対策の基礎資料とし、事前の予防対策や地震発生後の応急活動体制の強化を図るとともに、具体的な被害軽減効果を示すことにより、県民の防災・減災に係る意識の向上を図り、自助・共助の取り組みを促進することを目的とする。

2 調査の内容

- (1) 地震動・液状化・土砂災害の想定
- (2) 津波の想定
- (3) 建物被害
- (4) 屋外転倒、落下物の発生
- (5) 人的被害
- (6) ライフライン被害
- (7) 交通施設被害
- (8) 生活支障
- (9) その他の被害
- (10) 経済被害（直接被害）
- (11) 被災シナリオ

3 前提条件

- (1) 季節、時刻等のシーン

季節・発生時刻については、被害様相が異なる特徴的な次の3シーンにより検討した。さらに、火災による被害は、風速によって被害の様相が異なるため、平均風速と強風時の風速により検討を行った。

- (2) 想定地域単位

震度分布、液状化危険度、被害想定・・・125mメッシュ

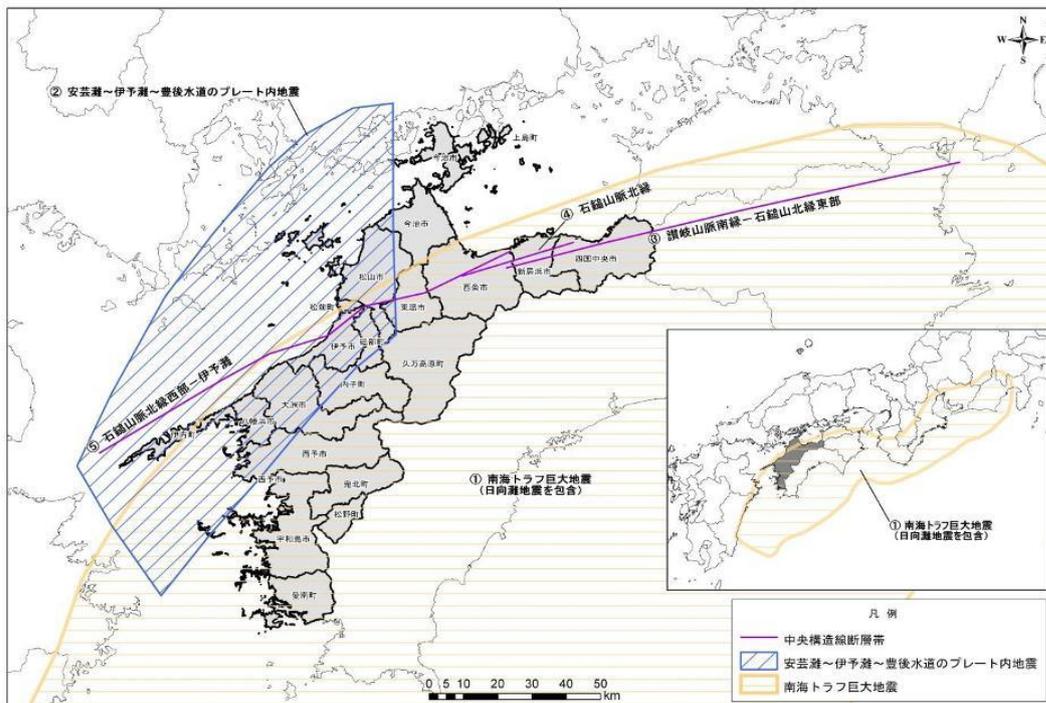
津波高・浸水想定、津波に係る被害想定・・・10mメッシュ

想定シーン	想定される被害の特徴
冬 深夜	<ul style="list-style-type: none">・多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高く、また津波からの避難が遅れることにもなる。・オフィスや繁華街の滞留者や鉄道・道路の利用者が少ない。
夏 12時	<ul style="list-style-type: none">・オフィスや繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。・木造建物内滞留人口は、1日の中で最も少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者は冬の深夜と比べて少ない。・海水浴客をはじめとする観光客が多く沿岸部等にいる。
冬 18時	<ul style="list-style-type: none">・住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。・オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。・鉄道、道路はほぼ帰宅ラッシュ時に近い状態であり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。

4 想定地震

本調査では、国の科学的知見等に基づき、愛媛県における最大クラスの想定地震を設定した。

名称	マグニチュード
①南海トラフ巨大地震	9.0 (津波：9.1)
②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (芸予地震)	7.4
③讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震 (中央構造線断層帯)	8.0
④石鎚山脈北縁 (岡村断層) の地震 (中央構造線断層帯)	7.3
⑤石鎚山脈北縁西部～伊予灘 (中央構造線断層帯)	8.0



5 想定結果

(1) 地震動

各想定地震における市町別最大震度

市町名	南海トラフ 巨大地震	安芸灘～伊予灘～豊後水道 の プレート内地震		讃岐山脈南 縁～石鎚山 脈北縁東部 の地震	石鎚山脈北 縁の地震	石鎚山脈北 縁西部～伊 予灘の地震
	想定地震 ①	想定地震 ②	想定地震 ②'	想定地震 ③	想定地震 ④	想定地震 ⑤
松山市	7	6強	6弱	6弱	5強	6強
今治市	6強	6弱	5強	6弱	6弱	6強
宇和島市	7	5強	6弱	4	3	5強
八幡浜市	7	6弱	6強	4	4	6弱
新居浜市	7	5強	5弱	7	7	6強
西条市	7	6弱	5強	6強	6強	7
大洲市	7	6弱	6弱	4	4	6強
伊予市	7	6弱	5強	5弱	5弱	6強
四国中央市	7	5弱	4	7	6強	6弱
西予市	7	6弱	6強	4	4	6弱
東温市	6強	5強	5強	5強	5弱	6強
上島町	6強	5強	4	6強	5強	5強
久万高原町	6強	5強	5弱	5強	5強	6弱
松前町	7	6弱	6弱	5強	5弱	6強
砥部町	6強	5強	5強	5弱	5弱	6弱
内子町	6強	5強	5強	4	4	6弱
伊方町	7	6弱	6強	4	4	7
松野町	6強	5弱	5弱	3	3	5弱
鬼北町	7	5弱	5強	4	4	5弱
愛南町	7	5弱	6弱	3	3	5弱

(2) 津波

ア 津波到達時間

市町名	最短津波到達時間 (分)						最高津波水位
	+20 cm	+1m	+2m	+3m	+5m	+10m	
四国中央市	5	231	—	—	—	—	404
新居浜市	11	235	—	—	—	—	451
西条市	5	222	—	—	—	—	461
上島町	5	355	—	—	—	—	421
今治市	4	161	—	—	—	—	448
松山市	4	115	198	—	—	—	199
松前町	5	113	134	—	—	—	185
伊予市	4	25	126	—	—	—	181
大洲市	4	28	134	—	—	—	155
八幡浜市 (宇和海)	5	51	56	59	66	—	72
八幡浜市 (伊予灘)	4	32	135	—	—	—	157
伊方町	4	46	47	50	50	58	59
西予市	4	48	55	56	74	—	81
宇和島市	4	19	28	32	37	—	48
愛南町	4	14	18	19	23	30	35

※+1m : 津波水位から初期潮位を引いた波高が+1mになった時間 (+2m以上も同様)

イ 最高津波水位及び浸水面積

市町名	最高津波水位			浸水面積 (ha) (1 cm以上)
	(T. P. m)	うち朔望平 均満潮位 (m)	うち津波 波高 (m)	
四国中央市	3.6	1.8	1.8	631
新居浜市	3.4	1.9	1.5	955
西条市	3.4	1.9	1.5	3,360
上島町	3.1	1.9	1.2	136
今治市	3.3	1.9	1.5	1,407
松山市	3.9	1.8	2.1	1,041
松前町	4.2	1.8	2.4	488
伊予市	4.3	1.8	2.5	277
大洲市	3.9	1.6	2.3	93
八幡浜市 (宇和海)	9.1	1.0	8.1	477
八幡浜市 (伊予灘)	4.0	1.6	2.4	
伊方町	21.3	1.0	20.3	321
西予市	9.3	1.0	8.3	358
宇和島市	10.1	1.1	9.0	1,662
愛南町	16.7	1.1	15.6	788
県計	—	—	—	11,995

被害想定総括表 (1/6)

地震名		南海トラフ巨大地震 (基本ケース)	南海トラフ巨大地震 (陸側ケース)	南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	南海トラフ巨大地震 (西側ケース)	安芸灘～伊予灘～豊後水道 のプレート内地震 (北側ケース1)	
想定シーン		人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	
風速		強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	
建物全壊棟数	建物総数	32,409 棟					
	揺れ	333 棟	3,891 棟	70 棟	296 棟	0 棟	
	液状化	180 棟	181 棟	157 棟	179 棟	136 棟	
	土砂災害	75 棟	111 棟	58 棟	75 棟	28 棟	
	津波	4,954 棟	5,102 棟	4,464 棟	4,893 棟	0 棟	
屋外転倒・落下物	火災	5 棟	2,832 棟	3 棟	4 棟	1 棟	
	ブロック塀等	452 箇所	1,044 箇所	280 箇所	442 箇所	70 箇所	
	自動販売機	4 箇所	9 箇所	4 箇所	4 箇所	0 箇所	
	屋外落下物	202 件	4,246 件	32 件	174 件	0 件	
	建物倒壊	20 人	233 人	4 人	18 人	0 人	
死者数	屋内収容物移動等	うち1 人	うち10 人	うち1 人	うち1 人	うち0 人	
	土砂災害	6 人	9 人	5 人	6 人	2 人	
	津波	507 人	504 人	507 人	507 人	0 人	
	火災	0 人	23 人	0 人	0 人	0 人	
	ブロック塀の倒壊等	0人(冬18時 0人)					
負傷者数	建物倒壊	270 人	1,614 人	95 人	265 人	12 人	
	屋内収容物移動等	うち24 人	うち151 人	うち18 人	うち24 人	うち6 人	
	土砂災害	7 人	11 人	6 人	7 人	3 人	
	津波	21 人	21 人	21 人	21 人	0 人	
	火災	0 人	16 人	0 人	0 人	0 人	
ブロック塀の倒壊等	0人(冬18時 1人)	0人(冬18時 2人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 1人)	0人(冬18時 0人)		
揺れによる要救助者数	自力脱出困難者数	51 人	598 人	10 人	45 人	0 人	
津波被害に伴う 要救助者・捜索者	要救助者	18 人	18 人	18 人	18 人	0 人	
	要捜索者	528 人	525 人	528 人	528 人	0 人	
上水道断水人口	給水人口	37,380 人					
	断水人口	直後	31,839 人	37,317 人	21,587 人	31,540 人	635 人
		1日後	31,110 人	37,254 人	20,459 人	30,811 人	598 人
		1週間後	26,170 人	36,813 人	14,561 人	25,796 人	224 人
		1ヶ月後	10,717 人	23,711 人	6,116 人	10,499 人	0 人
下水道支障人口	処理人口	27,563 人					
	支障人口	直後	26,555 人	27,411 人	26,511 人	26,555 人	5,675 人
		1日後	20,511 人	23,429 人	20,291 人	20,496 人	4,796 人
		1週間後	10,074 人	11,213 人	9,738 人	10,059 人	1,736 人
		1ヶ月後	4,330 人	4,478 人	3,916 人	4,302 人	55 人
停電軒数	電灯軒数	24,702 戸					
	停電軒数	直後	6,328 戸	24,560 戸	5,842 戸	6,562 戸	83 戸
		1日後	3,965 戸	21,205 戸	3,594 戸	3,939 戸	0 戸
		2日後	3,776 戸	16,959 戸	3,403 戸	3,729 戸	0 戸
		1週間後	3,776 戸	5,054 戸	3,403 戸	3,729 戸	0 戸
固定電話不通回線数	回線数	29,700 回線					
	不通回線数	直後	3,882 回線	24,784 回線	3,691 回線	4,200 回線	99 回線
		1日後	1,902 回線	22,815 回線	1,676 回線	2,215 回線	0 回線
		1週間後	0 回線	6,798 回線	0 回線	0 回線	0 回線
		1ヶ月後	0 回線	4,041 回線	0 回線	0 回線	0 回線
ガス供給停止戸数 (LPガス)	供給戸数	13,352 戸					
	容器転倒	277 戸	417 戸	246 戸	277 戸	156 戸	
	ガス漏洩	192 戸	291 戸	171 戸	192 戸	111 戸	

※被害想定総括表については、「愛媛県地震被害想定調査報告書」より八幡浜市関係分を抜粋。

被害想定総括表 (2/6)

地震名		安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (北側ケース2)	安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (南側ケース1)	安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (南側ケース2)	讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震 (ケース1)	讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震 (ケース2)
想定シーン		人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時
風速		強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)
建物全壊棟数	建物総数	32,409 棟	32,409 棟	32,409 棟	32,409 棟	32,409 棟
	揺れ	4 棟	13 棟	12 棟	0 棟	0 棟
	液状化	139 棟	154 棟	148 棟	4 棟	7 棟
	土砂災害	32 棟	43 棟	38 棟	0 棟	0 棟
	津波	— 棟	— 棟	— 棟	— 棟	— 棟
	火災	1 棟	2 棟	2 棟	0 棟	0 棟
屋外転倒・落下物	ブロック塀等	91 箇所	182 箇所	155 箇所	0 箇所	0 箇所
	自動販売機	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
	屋外落下物	2 件	8 件	6 件	0 件	0 件
死者数	建物倒壊	0 人	1 人	1 人	0 人	0 人
	屋内収容物移動等	うち0 人	うち0 人	うち0 人	うち0 人	うち0 人
	土砂災害	3 人	3 人	3 人	0 人	0 人
	津波	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	火災	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	ブロック塀の倒壊等	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)
負傷者数	建物倒壊	32 人	93 人	82 人	0 人	0 人
	屋内収容物移動等	うち7 人	うち8 人	うち8 人	うち0 人	うち0 人
	土砂災害	3 人	4 人	4 人	0 人	0 人
	津波	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	火災	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	ブロック塀の倒壊等	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)
揺れによる要救助者数	自力脱出困難者数	1 人	2 人	2 人	0 人	0 人
津波被害に伴う要救助者・捜索者	要救助者	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	要捜索者	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
上水道断水人口	給水人口	37,380 人	37,380 人	37,380 人	37,380 人	37,380 人
	直後	1,271 人	8,037 人	6,018 人	0 人	0 人
	1日後	1,159 人	7,326 人	5,420 人	0 人	0 人
	1週間後	449 人	3,888 人	2,579 人	0 人	0 人
	1ヶ月後	0 人	262 人	112 人	0 人	0 人
下水道支障人口	処理人口	27,563 人	27,563 人	27,563 人	27,563 人	27,563 人
	直後	5,821 人	6,454 人	6,447 人	0 人	0 人
	1日後	4,906 人	5,430 人	5,430 人	0 人	0 人
	1週間後	1,764 人	1,957 人	1,957 人	0 人	0 人
	1ヶ月後	55 人	55 人	55 人	0 人	0 人
停電軒数	電灯軒数	24,702 戸	24,702 戸	24,702 戸	24,702 戸	24,702 戸
	直後	340 戸	370 戸	370 戸	0 戸	0 戸
	1日後	25 戸	25 戸	25 戸	0 戸	0 戸
	2日後	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
	1週間後	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
固定電話不通回線数	回線数	29,700 回線	29,700 回線	29,700 回線	29,700 回線	29,700 回線
	直後	408 回線	443 回線	443 回線	0 回線	0 回線
	1日後	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線
	1週間後	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線
	1ヶ月後	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線
ガス供給停止戸数 (LPガス)	供給戸数	13,352 戸	13,352 戸	13,352 戸	13,352 戸	13,352 戸
	容器転倒	168 戸	205 戸	202 戸	0 戸	0 戸
	ガス漏洩	120 戸	145 戸	144 戸	0 戸	0 戸

被害想定総括表 (3/6)

地震名		石鐘山脈北縁の地震 (ケース1)	石鐘山脈北縁の地震 (ケース2)	石鐘山脈北縁西部一 伊予灘の地震 (ケース1)	石鐘山脈北縁西部一 伊予灘の地震 (ケース2)	
想定シーン		人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	
風速		強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	
建物全壊棟数	建物総数	32,409 棟	32,409 棟	32,409 棟	32,409 棟	
	揺れ	0 棟	0 棟	9 棟	63 棟	
	液状化	4 棟	4 棟	118 棟	131 棟	
	土砂災害	0 棟	0 棟	45 棟	50 棟	
	津波	— 棟	— 棟	— 棟	— 棟	
	火災	0 棟	0 棟	2 棟	2 棟	
屋外転倒・落下物	ブロック塀等	0 箇所	0 箇所	146 箇所	227 箇所	
	自動販売機	0 箇所	0 箇所	1 箇所	2 箇所	
	屋外落下物	0 件	0 件	4 件	36 件	
死者数	建物倒壊	0 人	0 人	1 人	4 人	
	屋内収容物移動等	うち0 人	うち0 人	うち0 人	うち0 人	
	土砂災害	0 人	0 人	4 人	4 人	
	津波	0 人	0 人	0 人	0 人	
	火災	0 人	0 人	0 人	0 人	
	ブロック塀の倒壊等	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	
負傷者数	建物倒壊	0 人	0 人	66 人	172 人	
	屋内収容物移動等	うち0 人	うち0 人	うち9 人	うち12 人	
	土砂災害	0 人	0 人	4 人	5 人	
	津波	0 人	0 人	0 人	0 人	
	火災	0 人	0 人	0 人	0 人	
	ブロック塀の倒壊等	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	0人(冬18時 0人)	
揺れによる要救助者数	自力脱出困難者数	0 人	0 人	1 人	10 人	
津波被害に伴う 要救助者・捜索者	要救助者	0 人	0 人	0 人	0 人	
	要捜索者	0 人	0 人	0 人	0 人	
上水道断水人口	給水人口	37,380 人	37,380 人	37,380 人	37,380 人	
	断水	直後	0 人	0 人	1,533 人	8,710 人
	1日後	0 人	0 人	1,383 人	7,962 人	
	1週間後	0 人	0 人	523 人	4,299 人	
	1ヶ月後	0 人	0 人	0 人	336 人	
下水道支障人口	処理人口	27,563 人	27,563 人	27,563 人	27,563 人	
	支障	直後	0 人	0 人	6,694 人	7,188 人
	1日後	0 人	0 人	5,650 人	6,064 人	
	1週間後	0 人	0 人	2,040 人	2,205 人	
	1ヶ月後	0 人	0 人	55 人	55 人	
停電軒数	電灯軒数	24,702 戸	24,702 戸	24,702 戸	24,702 戸	
	停電	直後	0 戸	0 戸	592 戸	1,277 戸
	1日後	0 戸	0 戸	49 戸	99 戸	
	2日後	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	
	1週間後	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	
固定電話不通回線数	回線数	29,700 回線	29,700 回線	29,700 回線	29,700 回線	
	不通	直後	0 回線	0 回線	710 回線	1,532 回線
	1日後	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線	
	1週間後	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線	
	1ヶ月後	0 回線	0 回線	0 回線	0 回線	
ガス供給停止戸数 (LPガス)	供給戸数	13,352 戸	13,352 戸	13,352 戸	13,352 戸	
	停止戸数	容器転倒	0 戸	0 戸	208 戸	221 戸
	ガス漏洩	0 戸	0 戸	147 戸	155 戸	

被害想定総括表 (4/6)

地震名		南海トラフ巨大地震 (基本ケース)	南海トラフ巨大地震 (陸側ケース)	南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	南海トラフ巨大地震 (西側ケース)	安芸灘～伊予灘～豊後水 道のアレート内地震 (北側ケース1)
想定シーン		人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時
風速		強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)
道路施設被害箇所数(緊急輸送道路)	道路総延長	57 km				
	津波浸水域	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所	0 箇所
	津波浸水域外	2 箇所	3 箇所	2 箇所	2 箇所	1 箇所
鉄道施設被害箇所数	道路総延長	12.8 km				
	津波浸水域	1 箇所	0 箇所	1 箇所	1 箇所	0 箇所
	津波浸水域外	17 箇所	30 箇所	17 箇所	17 箇所	5 箇所
港湾施設被害箇所数	総係留施設数	38 箇所				
	国際拠点港湾	—	—	—	—	—
	重要港湾	—	—	—	—	—
漁港被害箇所数	地方港湾	6 箇所	24 箇所	2 箇所	5 箇所	0 箇所
	総係留施設数	98 箇所				
	漁港(1種～4種)	13 箇所	58 箇所	5 箇所	13 箇所	0 箇所
避難者数(避難所内外)	1日後	15,402 人	19,833 人	15,112 人	15,380 人	221 人
	1週間後	12,020 人	19,676 人	8,479 人	11,853 人	283 人
	1ヶ月後	14,952 人	28,671 人	10,289 人	14,696 人	221 人
帰宅困難者	帰宅困難者数	4,679 人				
	居住ゾーン外への外出者数	4,131 人				
物資不足量	食糧不足量	135,705 食	192,668 食	115,272 食	134,634 食	2,022 食
	給水不足量	199,007 ㍉	301,150 ㍉	60,295 ㍉	194,390 ㍉	0 ㍉
	毛布不足量	19,385 枚	24,879 枚	19,068 枚	19,384 枚	0 枚
医療対応力不足数	入院	82 人	554 人	29 人	81 人	0 人
	外来	0 人	839 人	0 人	0 人	0 人
仮設住宅必要世帯数	自力再建困難者世帯数	1,084 世帯	2,368 世帯	929 世帯	1,065 世帯	32 世帯
仮設トイレ不足量	1日後	34 基	43 基	34 基	34 基	0 基
	1週間後	29 基	46 基	22 基	29 基	0 基
	1ヶ月後	15 基	29 基	10 基	15 基	0 基
災害廃棄物発生量	災害廃棄物	51.68 万t	96.10 万t	45.51 万t	50.91 万t	1.46 万t
	津波堆積物	27.03 万t	27.03 万t	27.03 万t	27.03 万t	—
エレベータ内閉じ込め	閉じ込め者数	21 人				
	台数	74 台				
災害時要援護者(避難所内)	1日後	2,422 人	3,052 人	2,381 人	2,419 人	31 人
	1週間後	2,095 人	3,251 人	1,548 人	2,067 人	34 人
	1ヶ月後	1,062 人	2,037 人	731 人	1,044 人	16 人
人工造成地による建物被害	全壊棟数	0 棟	0 棟	0 棟	0 棟	0 棟
文化財の被災可能性	揺れ	0 施設	1 施設	0 施設	0 施設	0 施設
	火災	0 施設				
	津波	0 施設				
孤立の可能性がある集落	農業集落	0 集落				
	漁業集落	0 集落				
ため池被害	危険度ランクA	0 箇所				
	危険度ランクB	0 箇所	7 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
	危険度ランクC	18 箇所	11 箇所	18 箇所	18 箇所	18 箇所
漁業施設	漁船被害数	517 隻	517 隻	517 隻	517 隻	0 隻
	漁場被害面積	1.29 km ²	1.29 km ²	1.29 km ²	1.29 km ²	0.0 km ²
重要施設	使用可能	94 施設	65 施設	100 施設	95 施設	128 施設
	一部制限	52 施設	44 施設	51 施設	52 施設	40 施設
	支障有	24 施設	61 施設	19 施設	23 施設	2 施設
農地被害	液状化被害面積	0.26 km ²	0.26 km ²	0.13 km ²	0.26 km ²	0.05 km ²
	津波被害面積	0.49 km ²	0.49 km ²	0.49 km ²	0.49 km ²	—
経済被害額(※県合計)	直接被害額	5.79 兆円	16.15 兆円	5.42 兆円	5.83 兆円	1.14 兆円
	建物	3.91 兆円	11.13 兆円	3.63 兆円	3.93 兆円	0.54 兆円
	家庭用品	0.42 兆円	1.66 兆円	0.39 兆円	0.43 兆円	0.09 兆円
	ライフライン	0.43 兆円	0.91 兆円	0.43 兆円	0.44 兆円	0.30 兆円
	交通施設	0.30 兆円	0.58 兆円	0.29 兆円	0.29 兆円	0.02 兆円
	その他公共土木施設	0.17 兆円	0.33 兆円	0.17 兆円	0.17 兆円	0.12 兆円
	災害廃棄物処理	0.11 兆円	0.38 兆円	0.09 兆円	0.11 兆円	0.01 兆円

被害想定総括表 (5/6)

地震名		安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (北側ケース2)	安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (南側ケース1)	安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (南側ケース2)	讃岐山脈南緯一石鎧山脈北緯東部の地震 (ケース1)	讃岐山脈南緯一石鎧山脈北緯東部の地震 (ケース2)
想定シーン		人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時
風速		強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)
道路施設被害箇所数(緊急輸送道路)	道路総延長	57 km	57 km	57 km	57 km	57 km
	津波浸水域	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
	津波浸水域外	1 箇所	2 箇所	1 箇所	0 箇所	0 箇所
鉄道施設被害箇所数	道路総延長	12.8 km	12.8 km	12.8 km	12.8 km	12.8 km
	津波浸水域	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
	津波浸水域外	6 箇所	7 箇所	7 箇所	0 箇所	0 箇所
港湾施設被害箇所数	総係留施設数	38 箇所	38 箇所	38 箇所	38 箇所	38 箇所
	国際拠点港湾	—	—	—	—	—
	重要港湾	—	—	—	—	—
漁港被害箇所数	地方港湾	0 箇所	1 箇所	1 箇所	0 箇所	0 箇所
	総係留施設数	98 箇所	98 箇所	98 箇所	98 箇所	98 箇所
	漁港(1種～4種)	0 箇所	3 箇所	2 箇所	0 箇所	0 箇所
避難者数(避難所内外)	1日後	236 人	337 人	314 人	5 人	8 人
	1週間後	360 人	1,411 人	1,027 人	5 人	8 人
	1ヶ月後	236 人	597 人	426 人	5 人	8 人
帰宅困難者	帰宅困難者数	4,679 人	4,679 人	4,679 人	1,181 人	1,183 人
	居住ゾーン外への外出者数	4,131 人	4,131 人	4,131 人	811 人	811 人
物資不足量	食糧不足量	2,308 食	3,860 食	1,948 食	49 食	83 食
	給水不足量	0 ㍉	0 ㍉	0 ㍉	0 ㍉	0 ㍉
	毛布不足量	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚
医療対応力不足数	入院	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	外来	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
仮設住宅必要世帯数	自力再建困難者世帯数	32 世帯	41 世帯	39 世帯	1 世帯	1 世帯
	1日後	0 基	1 基	1 基	0 基	0 基
	1週間後	1 基	2 基	2 基	0 基	0 基
仮設トイレ不足量	1週間後	1 基	2 基	2 基	0 基	0 基
	1ヶ月後	0 基	1 基	0 基	0 基	0 基
	1週間後	1 基	2 基	2 基	0 基	0 基
災害廃棄物発生量	災害廃棄物	1.45 万t	1.83 万t	1.74 万t	0.03 万t	0.06 万t
	津波堆積物	—	—	—	—	—
エレベーター内閉じ込め	閉じ込め者数	21 人	21 人	21 人	0 人	0 人
	台数	74 台	74 台	74 台	0 台	0 台
	1日後	34 人	48 人	45 人	1 人	1 人
災害時要援護者(避難所内)	1週間後	43 人	167 人	122 人	1 人	1 人
	1ヶ月後	17 人	42 人	30 人	0 人	1 人
	全壊棟数	0 棟	0 棟	0 棟	0 棟	0 棟
文化財の被災可能性	揺れ	0 施設	0 施設	0 施設	0 施設	0 施設
	火災	0 施設	0 施設	0 施設	0 施設	0 施設
	津波	0 施設	0 施設	0 施設	0 施設	0 施設
孤立の可能性がある集落	農業集落	0 集落	0 集落	0 集落	0 集落	0 集落
	漁業集落	0 集落	0 集落	0 集落	0 集落	0 集落
	危険度ランクA	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
ため池被害	危険度ランクB	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
	危険度ランクC	18 箇所	18 箇所	18 箇所	18 箇所	18 箇所
	漁船被害数	0 隻	0 隻	0 隻	0 隻	0 隻
漁業施設	漁場被害面積	0.0 km ²	0.0 km ²	0.0 km ²	0.0 km ²	0.0 km ²
	使用可能	127 施設	120 施設	124 施設	170 施設	170 施設
	一部制限	41 施設	47 施設	44 施設	0 施設	0 施設
重要施設	支障有	2 施設	3 施設	2 施設	0 施設	0 施設
	液状化被害面積	0.05 km ²	0.10 km ²	0.05 km ²	0.00 km ²	0.00 km ²
農地被害	津波被害面積	—	—	—	—	—
	直接被害額	0.95 兆円	0.59 兆円	0.38 兆円	3.33 兆円	3.94 兆円
	建物	0.43 兆円	0.26 兆円	0.18 兆円	2.25 兆円	2.64 兆円
経済被害額(※県合計)	家庭用品	0.08 兆円	0.04 兆円	0.02 兆円	0.33 兆円	0.39 兆円
	ライフライン	0.27 兆円	0.17 兆円	0.10 兆円	0.25 兆円	0.32 兆円
	交通施設	0.02 兆円	0.01 兆円	0.01 兆円	0.10 兆円	0.12 兆円
	その他公共土木施設	0.10 兆円	0.07 兆円	0.04 兆円	0.11 兆円	0.14 兆円
	災害廃棄物処理	0.01 兆円	0.01 兆円	0.00 兆円	0.08 兆円	0.09 兆円

被害想定総括表 (6/6)

地震名	石鐘山脈北緑の地震 (ケース1)	石鐘山脈北緑の地震 (ケース2)	石鐘山脈北緑西部一 伊予灘の地震 (ケース1)	石鐘山脈北緑西部一 伊予灘の地震 (ケース2)
想定シーン	人的被害: 冬深夜 人的被害以外: 冬18時	人的被害: 冬深夜 人的被害以外: 冬18時	人的被害: 冬深夜 人的被害以外: 冬18時	人的被害: 冬深夜 人的被害以外: 冬18時
風速	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)	強風 (市町毎平均+2σ)
道路施設被害箇所数(緊急輸送道路)	道路総延長 57 km 津波浸水域 0 箇所	道路総延長 57 km 津波浸水域 0 箇所	道路総延長 57 km 津波浸水域 0 箇所	道路総延長 57 km 津波浸水域 0 箇所
鉄道施設被害箇所数	道路総延長 12.8 km 津波浸水域 0 箇所	道路総延長 12.8 km 津波浸水域 0 箇所	道路総延長 12.8 km 津波浸水域 0 箇所	道路総延長 12.8 km 津波浸水域 0 箇所
港湾施設被害箇所数	津波浸水域外 0 箇所 総係留施設数 38 箇所	津波浸水域外 0 箇所 総係留施設数 38 箇所	津波浸水域外 2 箇所 総係留施設数 38 箇所	津波浸水域外 2 箇所 総係留施設数 38 箇所
漁港被害箇所数	国際拠点港湾 — 重要港湾 — 地方港湾 0 箇所	国際拠点港湾 — 重要港湾 — 地方港湾 0 箇所	国際拠点港湾 — 重要港湾 — 地方港湾 5 箇所	国際拠点港湾 — 重要港湾 — 地方港湾 6 箇所
避難者数(避難所内外)	総係留施設数 98 箇所 漁港(1種~4種) 0 箇所	総係留施設数 98 箇所 漁港(1種~4種) 0 箇所	総係留施設数 98 箇所 漁港(1種~4種) 14 箇所	総係留施設数 98 箇所 漁港(1種~4種) 18 箇所
帰宅困難者	1日後 5 人 1週間後 5 人	1日後 5 人 1週間後 5 人	1日後 268 人 1週間後 413 人	1日後 421 人 1週間後 1,606 人
物資不足量	1ヶ月後 5 人 帰宅困難者数 1,183 人	1ヶ月後 5 人 帰宅困難者数 1,183 人	1ヶ月後 268 人 帰宅困難者数 4,679 人	1ヶ月後 755 人 帰宅困難者数 4,679 人
医療対応力不足数	食糧不足量 48 食 給水不足量 0 ㍁	食糧不足量 47 食 給水不足量 0 ㍁	食糧不足量 3,449 食 給水不足量 0 ㍁	食糧不足量 7,234 食 給水不足量 0 ㍁
仮設住宅必要世帯数	毛布不足量 0 枚 入院 0 人	毛布不足量 0 枚 入院 0 人	毛布不足量 0 枚 入院 0 人	毛布不足量 0 枚 入院 0 人
仮設トイレ不足量	外来 0 人 自力再建困難者世帯数 1 世帯	外来 0 人 自力再建困難者世帯数 1 世帯	外来 0 人 自力再建困難者世帯数 33 世帯	外来 0 人 自力再建困難者世帯数 48 世帯
災害廃棄物発生量	1日後 0 基 1週間後 0 基	1日後 0 基 1週間後 0 基	1日後 1 基 1週間後 1 基	1日後 1 基 1週間後 3 基
エレベータ内閉じ込め	1ヶ月後 0 基 災害廃棄物 0.03 万t	1ヶ月後 0 基 災害廃棄物 0.03 万t	1ヶ月後 0 基 災害廃棄物 1.47 万t	1ヶ月後 1 基 災害廃棄物 2.06 万t
人工造成地による建物被害	津波堆積物 — 閉じ込め者数 0 人	津波堆積物 — 閉じ込め者数 0 人	津波堆積物 — 閉じ込め者数 21 人	津波堆積物 — 閉じ込め者数 21 人
文化財の被災可能性	台数 0 台 1日後 1 人	台数 0 台 1日後 1 人	台数 74 台 1日後 38 人	台数 74 台 1日後 60 人
孤立の可能性がある集落	1週間後 1 人 1ヶ月後 0 人	1週間後 1 人 1ヶ月後 0 人	1週間後 49 人 1ヶ月後 19 人	1週間後 190 人 1ヶ月後 54 人
ため池被害	全壊棟数 0 棟 揺れ 0 施設	全壊棟数 0 棟 揺れ 0 施設	全壊棟数 0 棟 揺れ 0 施設	全壊棟数 0 棟 揺れ 0 施設
漁業施設	文化財の被災可能性 火災 0 施設 津波 0 施設	文化財の被災可能性 火災 0 施設 津波 0 施設	文化財の被災可能性 火災 0 施設 津波 0 施設	文化財の被災可能性 火災 0 施設 津波 0 施設
重要施設	農業集落 0 集落 漁業集落 0 集落	農業集落 0 集落 漁業集落 0 集落	農業集落 0 集落 漁業集落 0 集落	農業集落 0 集落 漁業集落 0 集落
農地被害	危険度ランクA 0 箇所 危険度ランクB 0 箇所	危険度ランクA 0 箇所 危険度ランクB 0 箇所	危険度ランクA 0 箇所 危険度ランクB 0 箇所	危険度ランクA 0 箇所 危険度ランクB 0 箇所
経済被害額(※県合計)	危険度ランクC 18 箇所 漁船被害数 0 隻	危険度ランクC 18 箇所 漁船被害数 0 隻	危険度ランクC 18 箇所 漁船被害数 0 隻	危険度ランクC 18 箇所 漁船被害数 0 隻
	漁場被害面積 0.0 k㎡ 使用可能 170 施設	漁場被害面積 0.0 k㎡ 使用可能 170 施設	漁場被害面積 0.0 k㎡ 使用可能 124 施設	漁場被害面積 0.0 k㎡ 使用可能 123 施設
	一部制限 0 施設 支障有 0 施設	一部制限 0 施設 支障有 0 施設	一部制限 39 施設 支障有 7 施設	一部制限 33 施設 支障有 14 施設
	液状化被害面積 0.00 k㎡ 津波被害面積 —	液状化被害面積 0.00 k㎡ 津波被害面積 —	液状化被害面積 0.05 k㎡ 津波被害面積 —	液状化被害面積 0.11 k㎡ 津波被害面積 —
	直接被害額 2.52 兆円 建物 1.69 兆円	直接被害額 2.31 兆円 建物 1.52 兆円	直接被害額 5.02 兆円 建物 3.18 兆円	直接被害額 3.63 兆円 建物 2.13 兆円
	家庭用品 0.26 兆円 ライフライン 0.23 兆円	家庭用品 0.23 兆円 ライフライン 0.24 兆円	家庭用品 0.56 兆円 ライフライン 0.55 兆円	家庭用品 0.43 兆円 ライフライン 0.50 兆円
	交通施設 0.05 兆円 その他公共土木施設 0.09 兆円	交通施設 0.04 兆円 その他公共土木施設 0.09 兆円	交通施設 0.13 兆円 その他公共土木施設 0.19 兆円	交通施設 0.12 兆円 その他公共土木施設 0.17 兆円
	災害廃棄物処理 .06 兆円	災害廃棄物処理 0.05 兆円	災害廃棄物処理 0.09 兆円	災害廃棄物処理 0.06 兆円

【資料4】 自施設で想定される影響

東日本大震災の経験値として震度7の地域の復旧日数は、下記の通り。
 震度7の場合、電力：1週間、水道：3週間、ガス：5週間でほぼ復旧（リスクを考慮した日数）
 震度7の場合、電力：3日、水道：1週間、ガス：3週間で50%復旧
 震度6の場合、震度7の50%復旧を、復旧の目安と想定する

電力が復旧しないと、エレベーター、携帯電話、メールは使えない。

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力	自家発電機→			復旧	→	→	→	→	→
エレベーター	停止→			復旧	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄分→			給水車	→	→	→	→	→
生活用水	貯水槽分→			給水車	→	→	→	→	→
ガス	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
携帯電話	停止→			復旧	→	→	→	→	→
メール	停止→			復旧	→	→	→	→	→
道路	通行止め→		部分復旧→						

【資料5】災害時利用者一覧表（安否確認優先順位）

事業所名：八幡浜市地域包括支援センター

作成： 年 月 日

No	優先順位※		氏名 (生年月日)	住所（小学校区）	連絡先	想定される避難場所		特記	担当者	本人の状況	安否確認 できた日
	医療・介護	世帯構成				避難所	介護・医療機関				
1	人工呼吸器	(高)	介護 太郎 (S2 . 2 . 2)	◇◇市☆☆町 (△△△)			□□病院	高齢世帯、妻は要支援者、古い民家 ALS、ストレッチャー移動、胃ろう、吸引	佐藤	無事・負傷・不明・外出・死亡	
2			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
3			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
4			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
5			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
6			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
7			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
8			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
9			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
10			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
11			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
12			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
13			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
14			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
15			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
16			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
17			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
18			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
19			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
20			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
21			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
22			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
23			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
24			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	
25			(. .)							無事・負傷・不明・外出・死亡	

※優先順位の「医療・介護」、「世帯構成」は、優先順位を決める際の基準項目であり、順番に意味はない。世帯構成欄には、独居→(独) 高齢世帯→(高) 日中独居→(日) 同居家族あり→(同)と記載する。

【医薬品・衛生用品・日用品】

No.	区分	品目	必要量	備蓄量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
1	衛生用品	マスク（不織布製マスク）							
2		サージカルマスク							
3		体温計（非接触型体温計）							
4		ゴム手袋（使い捨て）							
5		フェイスシールド							
6		ゴーグル							
7		使い捨て袖付きエプロン							
8		ガウン							
9		キャップ							
10		次亜塩素酸ナトリウム液							
11		消毒用アルコール							
12		ガーゼ・コットン							
13		トイレトペーパー							
14		ティッシュペーパー							
15		保湿ティッシュ							
16		石鹸・液体せっけん							
17		紙おむつ							
18		尿パッド							
19		ドライシャンプー							
20		歯ブラシ							
21		石けん							
22		タオル							
23		肌着							
24		生理用品							
25		ビニール袋							

【資料 7】 BCP発動基準

別表第 6 (第 8 条関係)

本部体制		災害対策本部			
配備区分		警戒配備	第 1 配備	第 2 配備	第 3 配備
配備時期	風水害等時	①気象業務法に基づく警報(波浪及び大雪警報を除く)が発表されたとき	①気象業務法に基づく警報が発表され、災害が発生するおそれがあるとき ②水防警報が発表されたとき	①相当規模の災害が発生したとき、又は発生するおそれがあるとき	①気象業務法に基づく特別警報が発表されたとき ②大規模の災害が発生したとき、又は発生するおそれがあるとき
	地震・津波時	①市域に震度 4 の地震が発生したとき ②市域に津波注意報が発表されたとき	①市域に震度 5 弱の地震が発生したとき	①市域に震度 5 強の地震が発生したとき ②市域に津波警報が発表されたとき	①市域に震度 6 弱以上の地震が発生したとき ②市域に大津波警報が発表されたとき
	原子力災害時 (別表第 7 参照)	—	①緊急事態区分における警戒事態に該当するおそれがあるとき	①緊急事態区分における警戒事態に該当するとき(県内で震度 6 弱以上の地震発生又は大津波警報が発令された場合を含む)	①緊急事態区分における施設敷地緊急事態に該当するとき
	共通	①その他本部長が必要と判断するとき	①その他本部長が必要と判断するとき	①その他本部長が必要と判断するとき	①その他本部長が必要と判断するとき
配備内容		災害の発生に備えるための通信情報活動及び初期の応急対策活動に対処できる体制	災害の発生に備えるための通信情報活動及び初期の応急対策活動を実施する体制	中規模の災害に対する警戒若しくは応急対策活動を実施する体制	大規模災害に対し、市の全力をあげて防災活動を実施する体制
動員基準		所属職員の概ね 1/6 以内で、各対策部、班が必要とする人員	所属職員の概ね 1/3 以内で、各対策部、班が必要とする人員	所属職員の概ね 2/3 以内で、各対策部、班が必要とする人員	全身体制
配 備 人 員	本部事務局		全員	全員	全員
	総務部		—	—	—
	庶務班	総務課	5	全員	全員
		政策推進課	2	5	全員
		保内庁舎管理課	1	3	全員
	財政会計班	財政課	1	6	12
		会計課	1	2	全員
	調査班	税務課	1	4	8
		議会事務局	1	2	全員
		監査事務局	1	1	全員
	産業建設部		1	1	1
	建設班	建設課	2	10	全員
	農林商工班	農林課	2	8	全員
		商工観光課	1	2	3
	港湾班	水産港湾課	3	8	全員
	水道班	水道課	1	4	全員
	下水道班	下水道課	1	5	全員
	市民福祉部		1	1	1
	福祉班	社会福祉課	1	7	13
		子育て支援課	1	3	全員
保健センター		2	10	20	
人権啓発課		1	2	全員	
環境市民班	生活環境課	1	4	8	
	市民課	1	5	12	
教育部	学校教育課	3	8	10	
	生涯学習課	1	6	全員	
消防部		2	※ 4	※ 4	
合計		44	125 (消防部除く)	238 (消防部除く)	292 (消防部除く)

【資料8】職員の安否確認シート

フロア：

エリア・ユニット：

No	氏名	安否確認	自宅状況	家族の安否	出勤可否
1		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
2		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
3		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
4		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
5		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
6		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
7		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
8		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
9		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
10		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
11		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
12		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
13		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
14		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
15		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
16		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
17		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
18		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
19		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
20		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()

【資料9】重要業務の継続

介護予防支援、ケアマネジメントA、B業務

開始目標	発災後 6時間	概ね3日まで	1週間まで	1ヵ月以内
実態把握 ケアマネジメント	(1)優先順位の高い利用者から安否確認を行う。 (2)被害状況の確認、避難所の開設状況等情報収集。	(1)利用者の安否確認を行う。 (2)支援継続のため、事業所等との連絡調整。 (3)ライフラインや避難所等の情報発信。 (4)安全な居住場所の確保。	(1)利用者の健康状態の確認を行う。 (2)支援継続のため事業所等との連絡調整。 (3)介護施設や医療、支援制度等必要な情報発信。	(1)利用者の健康状態の確認を行う。 (2)支援継続のため事業所等との連絡調整。 (3)今後の支援の方向性を決定する。 (4)仮設住宅等居住の場等の情報発信。
給付管理	休止	休止(国保連と調整)	通常業務に近づく。	ほぼ通常業務通り。
契約事務	休止	休止	通常業務に近づく。	ほぼ通常業務通り。
委託料等支払い	休止	休止	通常業務に近づく。	ほぼ通常業務通り。

【資料10】事業者一覧

資料4-14 八幡浜市指定給水装置工事事業者一覧表（市内業者）

八幡浜市指定給水装置工事事業者一覧表（市内業者）

事業所名	住所	電話番号	備考
八幡浜市管工事業協同組合	東新川1280番地の13	23-0784	
(有)谷口水道工業所	北浜一丁目2番4号	22-0549	
(有)村上水道工業所	郷4番耕地372番地6	22-3890	
(株)やまきガス水道	産業通17番1号	22-2188	
(有)八幡浜電工	保内町川之石12番耕地471番地	36-0546	
(有)谷本工務店	広瀬一丁目7番15号	22-3076	
(有)新堂設備工業所	日土町2番耕地256番地	26-0783	
三原設備(株)	保内町喜木1番耕地479番地	36-0718	
真木設備	五反田1番耕地334番地2	24-3267	
(有)野本設備	大平1番耕地667番地	24-1188	
(株)共立設備	松柏丙163番地1	23-1069	
コウノ水道(有)	日土町8番耕地761番地	26-0256	
山下設備	1328番地2（矢野町四丁目）	23-1602	
(有)千葉設備	古町二丁目2番29号	24-2819	
クボタ設備	布喜川甲60番地7	24-6335	
宮岡設備	1084番地の6（矢野町二丁目）	24-0261	
中野設備	五反田2番耕地1420番地3	24-5019	
(株)井上設備工業	日土町6番耕地184番地	26-0184	
岩田水道興業	矢野町440番地3	23-0270	
森川設備	川之内2番耕地124番地4	27-0233	
瀬戸建設(株)	郷4番耕地370番地10	24-2334	
(有)ヤマオ	大平1番耕地764番地8	23-1576	
(株)デンカ	産業通12番20号	23-1900	
Water Works 清水設備	松柏甲772番地	24-6399	
上野電気(有)	保内町川之石13番耕地276番地20	36-1167	
(有)松見水道	保内町川之石1番耕地236番地85	36-0027	
(有)アサノ設備	保内町須川24番地1	37-2655	支店
(有)新地商店	1207番地の1（東新川）	22-3456	
真穴水道設備(有)	穴井4番耕地163番地	29-7550	
奥嶋設備(有)	1469番地10（天神通一丁目）	24-6896	
成木設備	保内町川之石6番耕地32番地	36-0630	
(株)成見電気工事	保内町宮内2番耕地100番地1	36-0543	
浜中電気	保内町川之石1番耕地236番地165	36-0048	
矢野商店	保内町川之石3番耕地277番地3	36-0422	
菊池水道	保内町喜木津2番耕地1251番地	35-0437	
ベスト電器ミヤタ保内店	保内町川之石3番耕地19番地1	36-0130	
(有)ナカタ電器	保内町宮内1番耕地334番地	36-3002	支店
建商(株)	五反田1番耕地56番1	24-3551	
奥電(有)	産業通16番37号	23-2816	

資料 4-15 搬送用給水機関（容器を含む）の種別、能力及び保有数

搬送用給水機関（容器を含む）の種別、能力及び保有数

種 別	能力及び保有数		所 管
	能 力	保 有 数	
給水タンク	1, 0 0 0ℓ	2台	水道課
ポリタンク	1 8～2 0ℓ	5 4台	水道課
	8 0 0 ℓ	1 台	
	1, 2 0 0 ℓ	7 台	
	1, 0 0 0 ℓ	1 台	
ポリ袋	6ℓ	3, 0 0 0個	水道課

資料 4-16 医療機関一覧表

医 療 機 関 一 覧 表

医療機関名	所 在 地	電 話 番 号
市立八幡浜総合病院	大平 1-638	2 2 - 3 2 1 1
一次救急休日・夜間診療所	//	2 4 - 1 1 9 9
広瀬病院	1280-9 (大正町)	2 2 - 2 6 0 0
宇都宮病院	1536-118 (白浜通)	2 2 - 0 1 6 3
真網代くじらリハビリテーション病院	真網代甲 229 - 5	2 8 - 1 1 2 3
三瀬医院	1182-1 (大正町)	2 2 - 3 5 1 1
浅田内科医院	389-2 (仲之町)	2 2 - 0 3 5 3
鎌田内科消化器科クリニック	1526 番地 80, 81 (大黒町 3)	2 2 - 0 5 1 8
谷池内科・胃腸科	1280-20 (大正町)	2 2 - 4 5 6 7
チヨダクリニック	川通 1455-22 (矢野町 7)	2 3 - 0 0 1 1
中野医院	五反田 1-36-2	2 2 - 1 1 1 7
宝道医院	1455 (矢野町 7)	2 7 - 0 8 8 0
加藤内科	産業通 6-28	2 9 - 1 7 7 1
こくぶ内科クリニック	松柏乙 999 (松柏 1)	2 4 - 0 9 9 9
ひらやま内科・呼吸器内科クリニック	桜谷 1026 (桜谷 3)	2 0 - 8 0 8 0
旭町内科クリニック	沖新田 1510-73	2 9 - 1 2 2 2
川上診療所	川名津甲 325-6	2 4 - 5 1 1 6
真網代診療所	真網代丙 247-10	2 8 - 0 7 1 7
穴井診療所	穴井 3-401	2 8 - 0 0 2 4
大島診療所	大島 2-101-1	2 8 - 0 9 4 1
永松内科医院	保内町川之石 1-260-2 (本町)	3 6 - 0 2 2 4
二宮医院	保内町宮内 1-92-1 (清水町)	3 6 - 0 8 9 6
清水医院	日土町 1-256	2 6 - 0 0 9 9
矢野脳神経外科医院	古町 1-6-12	2 3 - 0 2 1 0
柳田脳神経外科	江戸岡 1-7-10	2 0 - 8 2 0 0
にしむら整形外科	1510-139 (昭和通)	3 5 - 7 1 1 1
坪内整形外科医院	保内町川之石 1-43-1 (和田町)	3 7 - 3 7 2 2

医療機関名	所在地	電話番号
なかの泌尿器科	保内町喜木 1-240-1	36-1717
守口小児科医院	産業通 280-1	24-7770
みかんこどもクリニック	白浜通	20-8800
川之石診療所	保内町川之石 3-304 (本町)	36-0059
喜須来診療所	保内町須川 58-1	36-1515
小泉産婦人科医院	松柏丙 780 (桧谷 2)	24-3003
菊池医院	広瀬 1-7-12	22-2205
町田耳鼻咽喉科医院	422 (港町)	22-3349
本田眼科医院	292 (新町 4)	22-0676
よりみつ眼科	1227-3 (東矢野町)	22-1576
にしわき眼科クリニック	江戸岡 1-4-5	20-0600
くじらクリニック	五反田 1-1046-1	22-2309
医師会立双岩病院	若山 4-160-1	22-4355
上田歯科医院	広瀬 1-7-2	22-0156
高岡歯科医院	1526-5 (大黒町 3)	22-0368
新谷歯科医院	1569-11 (旧港)	22-2197
王子の森歯科医院	五反田 1-1-2	24-3122
ショージ歯科医院	保内町宮内 1-288-1	36-2338
布井歯科医院	保内町川之石 3-45-1	36-0702
中野歯科医院	矢野町 425	24-1191
矢野歯科医院	字下松影 1112-4	24-5188
勝村歯科医院	郷 4-358-3	22-1248
平井歯科医院	松柏乙 1036	24-5858
土居歯科医院	松柏丙 811	24-1260
瀬尾歯科医院	1352 (浜田町 3)	24-4680
宮部歯科医院	435-17 (港町)	24-2315
宇都宮歯科医院	産業通 11-29	24-6600
うつのみや歯科医院	保内町須川 118-2	36-0438
つかさ歯科医院	千代田町 1458	22-2466
福田歯科医院	宮内 1-273-1	36-1133
ことり歯科クリニック	昭和通 1510-113	21-4080

資料 4-17 消毒用機器材一覧表

消毒用機器材一覧表

品名	数量	保管場所
肩掛け噴霧器	9個	生活環境課
噴霧ミスト機	1台	榎峠倉庫
動力噴霧機 SX-400	2台	榎峠倉庫

資料 4-18 し尿収集許可業者一覧表

し尿収集許可業者一覧表

業者名	代表者名	所在地	電話番号	車両数
(有)安全衛生社	二宮 健悟	1182-19	22-1100	3.00 t 3台
長田衛生社(有)	長田 忠幸	五反田 1-28-5	22-1931	3.00 t 1台
井上衛生社	井上 誠二	保内町喜木 1-92	36-1250	3.00 t 1台
(有)八幡浜清掃社	柏木 初男	川之内 1-88	22-0245	3.16 t 1台 2.87 t 1台 2.00 t 1台

資料 4-19 ごみ収集許可業者一覧表

ごみ収集許可業者一覧表

業 者 名	代表者名	所 在 地	電話番号	車 両 数
(有)八幡浜清掃社	柏木 初男	川之内 1-88	2 2 - 0 2 4 5	2.60 t 1台 2.55 t 1台 2.35 t 1台 2.00 t 7台 0.35 t 2台
(有)石田清掃社	石田 好孝	川之内 1-358	2 2 - 4 1 7 4	2.80 t 1台 2.40 t 1台 2.00 t 3台 0.35 t 1台
(有)八幡浜クリーン	菊池 照泰	郷 3-491-1	2 3 - 1 1 4 4	2.75 t 1台 2.70 t 1台 2.25 t 1台 2.00 t 4台 0.85 t 1台 0.35 t 1台
八幡浜日整自動車工業 株	松岡 功	松柏乙 954-2	2 2 - 0 7 3 3	2.00 t 4台 0.35 t 1台
(有)エーデル企画	二宮 嘉彦	保内町須川 331-6	3 6 - 2 6 6 1	3.40 t 1台 3.00 t 2台 2.65 t 1台 0.85 t 1台 0.35 t 1台
あすなろサービス	皆川 拓哉	保内町須川 1059-1	3 7 - 2 8 0 3	0.35 t 2台
高山商店	高山 泰男	保内町宮内 1-328	3 6 - 0 4 6 2	3.00 t 1台 2.90 t 1台 2.50 t 1台 2.00 t 5台 0.35 t 1台
(社)八幡浜市シルバー人 材センター	山内 裕司	保内町宮内 1-260	3 6 - 3 7 5 1	0.35 t 2台
(有)松田組	松田 憲和	川之内 2-7-1	2 4 - 3 4 3 0	9.80 t 1台 9.70 t 1台 7.30 t 1台 4.00 t 1台 3.95 t 1台 3.90 t 1台 3.85 t 1台 3.65 t 1台 3.00 t 3台 2.70 t 1台 2.00 t 2台 1.25 t 1台 0.35 t 1台

業 者 名	代表者名	所 在 地	電 話 番 号	車 両 数
(有)井上運送	井上 徹也	北浜 1-1533-20	2 2 - 2 5 8 5	3.50 t 2台 3.00 t 2台 2.00 t 3台 0.35 t 1台
(有)マルイ	井上 剛	若山 2-15	2 4 - 4 3 3 1	10.6 t 1台
八代開発(株)	井上 幸津	八代 182	2 2 - 2 8 3 3	4.00 t 1台 3.85 t 1台 3.00 t 1台 2.00 t 1台 0.35 t 4台
(株)松田工業	松田 頼明	栗野浦 495-1	2 2 - 0 4 1 4	4.05 t 1台 2.00 t 4台
新愛商事(株)	上村 容志枝	五反田 1-106	2 9 - 1 1 8 3	0.35 t 1台
八幡浜蒲鉾共同組合	平岡 孝	1510-87	2 2 - 0 0 5 8	3.00 t 1台
(有)ウエダ	上田 征司	八代 664-4	3 7 - 2 8 1 1	8.10 t 1台 3.00 t 1台 1.65 t 1台
NPO 法人 浜の会 就労継続支援 B 型事業所	木村 謙児	大平 1-759	2 4 - 7 6 5 9	0.35 t 2台

資料 4 - 20 動物病院・獣医師一覧表

動物病院・獣医師一覧表

動物病院名	獣医師名	所 在 地	電 話 番 号
大山動物病院	大山 晴嗣	松柏丙 5 8 4 - 2	2 2 - 2 1 3 8
しんや動物病院	新家 康男	古町 2 - 1 - 2 1	2 3 - 1 6 4 5
宮本獣医科病院	宮本 徳一郎	産業通 1 - 1 3	2 2 - 2 4 9 0
千丈動物病院	水沼 博幸	郷 4 - 3 6 3 - 1	3 5 - 6 6 9 9

資料 4-21 建築業者一覧表

建設・建築業者一覧表

番号	業者名	電話番号	住所	土木機械類 の保有
1	㈱愛亀 南予営業所	22-3673	江戸岡一丁目 5 番 8 号	○
2	愛南基礎工業㈱	22-0875	大黒町三丁目 1526 番地	○
3	(有)アサノ設備	37-2655	保内町須川 24 番地 1	○
4	井上建設	36-2241	保内町宮内 1 番耕地 143 番地 5	
5	㈱井上設備工業	26-0184	日土町 6 番耕地 184 番地	○
6	浮田建設(有)	24-4336	若山 2 番耕地 10 番地 3	
7	(有)園帝	24-1764	郷 3 番耕地 340 番地	
8	奥嶋設備(有)	24-6896	1469 番地 10	
9	北浜工業㈱	23-2879	郷 4 番耕地 374 番地 3	○
10	建商㈱	24-3551	五反田 1 番耕地 56 番地 1	○
11	㈱河野工務店	22-0998	八代人加志 169 番地	○
12	小西建設㈱	22-1184	古町二丁目 1 番 15 号	○
13	昭和建设(有)	22-3288	向灘 352 番地	
14	㈱新光建設	24-4481	1198 番地 1	○
15	西伸建設(有)	24-7340	八代乙 453 番地 27	○
16	成和工業(有)	37-2215	保内町喜木 3 番耕地 128 番地 4	○
17	瀬戸建設㈱	24-2334	郷 4 番耕地 370 番地 10	○
18	(有)大成工業	23-0015	五反田 1 番耕地 122 番地	○
19	(有)高田工務店	36-0201	保内町宮内 2 番耕地 106 番地	
20	辰工務店	24-6366	五反田 1 番耕地 500 番地 1	
21	(有)谷口水道工業所	22-0549	北浜一丁目 2 番 4 号	○
22	谷野建設	22-0957	八代 89 番地 2	
23	(有)谷本工務店	22-3076	広瀬一丁目 7 番 15 号	○
24	第一建設(有)	28-0330	穴井 3 番耕地 540 番地	○
25	㈱大任建設	22-5111	産業通 3 番 3 号	
26	㈱中井建設	24-4364	若山 4-92	○
27	㈱永咲工業	36-1350	保内町川之石 1 番耕地 28 番地 4	○
28	(有)日進緑地	26-0719	日土町字寺前 2 番耕地 133 番地 1	○
29	花見建設㈱	28-0026	大島 3 番耕地 226 番地 4	○
30	堀田建設㈱	24-3850	郷 1 番耕地 12 番地 1	○
31	真穴水道設備(有)	29-7550	穴井 4 番耕地 163 番地	○

番号	業者名	電話番号	住所	土木機械類 の保有
32	増中建設(有)	23-1115	舌間 2 番耕地 487 番地の 5	○
33	(有)松田組	24-3430	川之内 2 番耕地 7 番地 1	○
34	丸五建設(有)	35-0028	保内町磯崎 1528 番地の 3	○
35	三原設備株	36-0718	保内町喜木 1 番耕地 479 番地	○
36	(有)村上水道工業所	22-3890	郷 4 番耕地 372 番地 6	○
37	明和建设(有)	36-1177	保内町宮内 1 番耕地 111 番地 1	○
38	八代開発株	22-2833	八代 182 番地	○
39	山下設備	23-1602	1328 番地 2	
40	横平農園(有)	24-5540	布喜川甲 895 番地 2	
41	榊四電工 八幡浜営業所	22-3145	字川通 1460 番地 125	○

資料4-22 危険物等取扱所一覧表

危険物等取扱所一覧表

(令和2年1月31日現在)

(1) 給油取扱所

名 称	所在地	品名最大数量 (ℓ)				合計数量 (ℓ)	指定数量の倍数
		第1 石油類	第2 石油類	第3 石油類	第4 石油類		
アトム石油㈱八幡浜東給油所	産業通 10-14	40,000	19,200	1,800		61,000	220.10
三原産業(株)D.D八幡浜店	江戸岡 1254	50,000	40,000	2,000	2,000	94,000	291.33
太陽石油販売㈱八幡浜給油所	郷 3-46-1	50,000	130,000	1,950	1,800	183,750	381.28
清水産業(株)駅前給油所	松柏丙 803-1	25,095	19,200	4,700		48,995	147.03
清水産業(株)千丈給油所	郷 4-429-1	28,800	38,400	3,700		70,900	184.25
西宇和農協日土出張所	日土町 2-285	12,595	16,300	1,800		30,695	80.18
西宇和農協新道事業所	日土町 5-3514-1	4,895	600	1,800		7,295	25.98
西宇和農協大平給油所	大平 1-812-2	30,000	30,000	1,800	1,900	63,700	181.25
西宇和農協舌田事業所	合田 2141-9	16,095	14,000			30,095	94.48
西宇和農協川上事業所	川上町川沼津甲 1020-1	10,190	10,000	1,800		21,990	61.85
西宇和農協真穴事業所	真網代 248	9,695	5,400	1,800		16,895	54.78
八幡浜漁協給油所	大黒町 5-1522-4	19,295	28,800	1,800		49,895	126.18
赤松石油㈱八幡浜支店	松柏乙 937-2	38,400	19,200	1,000	1,800	60,400	212.00
八幡浜漁協 大島	大島 2-102-2		15,000	5,000		20,000	17.50
伊予鉄南予バス(株)	江戸岡 1-9-3		20,000			20,000	20.00
宇和島自動車㈱八幡浜営業所	川通り 1460-2		9,600	1,800		11,400	10.50
丸回企業(株)	沖新田 1510-65		19,200			19,200	19.20
㈱キクノ生コン事業部八幡浜工場	栗野浦 482		19,200			19,200	19.20
川之石石油販売(株)No.1	川之石 1-234-10	10,000	15,760	1,800		25,760	66.66
川之石石油販売(株)No.2	川之石 1-236-27	13,440	15,360			28,800	82.56
三原産業(株)保内給油所	保内町宮内 1-18-1	20,000	20,000	1,800		41,800	120.90
ゼネラルいよ石油(有)	保内町宮内 1-338-2	30,000	25,000	1,800		56,800	175.30
(有)宮内サービスセンター	保内町宮内 1-658-1	12,400	16,400	200	600	29,600	78.60
JASS-PORT にしうわ	保内町須川 65-1	56,000	40,000			96,000	320.00
八幡浜漁協磯津支所	保内町喜木津 2-334-3		5,000	10,000		15,000	10.00
八幡浜漁協磯津支所磯崎事業所	保内町磯崎 1453		8,000	17,000		25,000	16.50
建商(株)	保内町須川 2469-1		9,600			9,600	9.60
保内運送(有)	保内町宮内 5-243-2	2,880	25,920	2,000		30,800	41.32
(株)フジ物流	保内町川之石 7-628-1		10,000			10,000	10.00
南予興業(株)	保内町喜木 1-114-1	6,000	14,000			20,000	44.00

(2) 一般取扱所

名 称	所 在 地	品名最大数量 (ℓ)				合 計 数 量 (ℓ)	指 定 数量の 倍 数
		第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類		
太陽石油販売㈱八幡浜給油所	郷 3-46-1			81,950	1,800	83,750	41.28
八幡浜紙業㈱	1280			9,096		9,096	4.55
三原産業㈱八幡浜油槽所棧橋	栗野浦 488			60,000	9,000	69,000	31.50
三原産業㈱八幡浜油槽所ドラム詰場	栗野浦 488			60,000		60,000	30.00
八幡浜浄化センター	栗野浦 574-77			5,374		5,374	2.69
八幡浜漁協棧橋	向灘 2271		150,000	154,000		304,000	227.00
八幡浜漁協ドラム詰場	向灘 2271		64,000	90,000		154,000	109.00
市立八幡浜総合病院	大平 1-638			5,285		5,285	2.64
南予水道企業団八幡浜浄水場	大平 1-105		1,164			1,164	1.16
南予水道企業団八幡浜導水ポンプ場	高野地 1060-4		1,404			1,404	1.40
西南開発㈱	保内町宮内 1-300-1			5,236		5,236	2.62
㈱えひめフーズ	保内町喜木 2-78-1			9,817.5		9,817.5	4.91
特別養護老人ホーム青石寮	保内町磯崎 2114-3			2,330		2,330	1.17
㈱あわしま堂本社工場	保内町川之石 1-237-53			3,402.4		3,402.4	1.70

(3) 販売取扱所

名 称	所 在 地	品名最大数量 (ℓ)				合 計 数 量 (ℓ)	指 定 数量の 倍 数
		第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類		
赤松塗料店	1526-112	1,600	2,000	2,000		5,600	11.00
大西船具㈱	1510-58	4,640	4,688	500		9,828	28.14

(4) 屋内貯蔵所

名 称	所 在 地	品名最大数量 (ℓ)				合 計 数 量 (ℓ)	指 定 数量の 倍 数
		第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類		
八幡浜漁協 大島	大島 2-102-2	720	1,080			1,800	4.68
赤松塗料店	大谷口 2-80-1	4,000	4,800	700		9,500	25.15
三原産業㈱八幡浜油槽所	栗野浦 488	2,400	3,000	46,000	66,000	117,400	49.00
八幡浜南環境センター	若山 9-40			2,000		2,000	1.00

(5) 移動タンク貯蔵所

名 称	所 在 地	品 名 最 大 数 量 (ℓ)				合 計 数 量 (ℓ)	指 定 数 量 の 倍 数
		第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類		
八幡浜漁協 1	1584	(4,000)	(4,000)	(4,000)		4,000	2~20
八幡浜漁協 2	1584		2,000	2,000		4,000	3.00
八幡浜漁協 3	向灘 2302-6		(8,000)	(8,000)		8,000	4~8
八幡浜漁協 5	1584		(2,000)	(2,000)		2,000	1~2
八幡浜漁協 6	1584		1,350			1,350	1.35
三原産業(株) 1	栗野浦 483		(4,000)	(4,000)		4,000	2~4
三原産業(株) 2	栗野浦 483		(3,000)	(3,000)		3,000	1.5~3
三原産業(株) 3	栗野浦 483	(4,000)	(4,000)	(4,000)		4,000	2~20
太陽石油販売(株)八幡浜給油所1	郷 3-39-1		2,000			2,000	2.00
太陽石油販売(株)八幡浜給油所2	郷 3-39-1	(2,000)	(2,000)	(2,000)		2,000	1~10
太陽石油販売(株)八幡浜給油所3	郷 3-39-1		1,900			1,900	1.90
川之石石油販売(株)	保内町川之石 3-8		3,000			3,000	3.00
川之石石油販売(株)	保内町宮内 1-112-2	(3,000)	(3,000)	(3,000)		3,000	1.5~15
川之石石油販売(株)	保内町川之石 3-8		1,000	1,000		2,000	1.50
ゼネラルいよ石油(有)	保内町宮内 1-346			3,000		3,000	1.50

(6) 屋外タンク貯蔵所

名 称	設 置 場 所	品 名 最 大 数 量 (kℓ)		数 量 (kℓ)	倍 数
		第 2	第 3		
南松田組	川之内 4-27		重油 12	12	6.00
西南砕石工業(株)	横平戊 150		重油 19.8	19.8	9.90
八幡浜南環境センター	若山 9-40		重油 5	5	2.50
三原産業(株)	1号タンク	栗野浦 488	重油 330	330	165.00
	2号タンク	栗野浦 488	重油 330	330	165.00
	3号タンク	栗野浦 488	重油 390	390	195.00
八幡浜漁協	1号タンク	向灘 2271	重油 445	445	222.50
	2号タンク	向灘 2271	軽油 326	326	326.00
	3号タンク	向灘 2271	重油 185	185	92.50
	4号タンク	向灘 2271	重油 185	185	92.50
	5号タンク	向灘 2271	重油 400	400	200.00

(7) 屋内タンク貯蔵所

名 称	所 在 地	品 名 最 大 数 量 (ℓ)				合 計 数 量 (ℓ)	指 定 数 量 の 倍 数
		第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類		
八幡浜紙業株	1280			17,500		17,500	8.75

(8) 地下タンク貯蔵所

名 称	所 在 地	品 名 最 大 数 量 (ℓ)				合 計 数 量 (ℓ)	指 定 数 量 の 倍 数
		第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	アルコール類		
やすらぎ聖苑	若山 9-49-1		5,000			5,000	5.00
南予地方局八幡浜支局	北浜 1-3-37			5,000		5,000	2.50
八幡浜市民スポーツセンター	北浜 1-5-1			5,000		5,000	2.50
NTT八幡浜支店	江戸岡 1-2-39		2,000			2,000	2.00
南予水道企業団八幡浜浄水場	大平 1-105		1,900			1,900	1.90
南予水道企業団八幡浜導水ポンプ場	高野地 1060-4		3,000			3,000	3.00
青峰会くじら病院	五反田 1-1046-1			4,000		4,000	2.00
新愛商事株	五反田 1-106			10,000		10,000	5.00
ハーバープラザホテル	360-1		3,000			3,000	3.00
太陽石油販売株八幡浜給油所	郷 3-46-1			81,950		81,950	40.98
西宇和農協真穴撰果場	真網代丙 588-3		4,800			4,800	4.80
八幡浜浄化センター	栗野浦 574-77			30,000		30,000	15.00
大島産業振興センター	大島 3-298-5		3,000			3,000	3.00
八幡浜市役所	北浜 1-1-1			10,000		10,000	5.00
市立八幡浜総合病院	大平 1-638			16,000		16,000	8.00
八幡浜地区施設事務組合消防本部	松柏丙 796		5,000			5,000	5.00
株あわしま堂本社工場 1	保内町川之石 1-237-53			10,000		10,000	5.00
株あわしま堂本社工場 2	保内町川之石 1-237-53			10,000		10,000	5.00
株あわしま堂第 1 工場 1	保内町川之石 1-78			10,000		10,000	5.00
株あわしま堂第 1 工場 2	保内町川之石 1-78			20,000		20,000	10.00
株キノ	保内町川之石 1-236-1			8,000		8,000	4.00
株えひめフーズ	保内町喜木 2-78-1			15,000		15,000	7.50
八幡浜地区施設事務組合一楽園	保内町喜木 1-5-2			10,000	10,000	20,000	30.00
特別養護老人ホーム青石寮	保内町磯崎 2114-3			4,000		4,000	2.00
宮内川東地区雨水ポンプ場	保内町宮内 1-214-8			4,000		4,000	2.00
舟木谷排砂ポンプ場	保内町宮内 1-530-2			4,000		4,000	2.00

(9) プロパンガス販売所

販 売 所 名	所 在 地	電 話 番 号	備 考
山脇プロパン(有)	松柏丙 828	22-0050	
二宮プロパン販売店	153	22-1106	
(有)宮部商店	松柏乙 986	22-4050	
(有)宮部商店保内営業所	保内町宮内 1-658-12	36-1055	
(有)新地商店	1207-1	22-3456	
西宇和農協LPGセンター	保内町須川 65-1	36-3330	本所：24-2111
矢野商店	川之石 3-277-3	36-0422	
(株)三瀬洋商店	裏田 1386-1	22-1863	
(株)やまきガス水道	産業通 17-1	22-2188	
速水商店	宮内 1-259-1	37-2577	
満田商店	五反田 1-194	22-4140	
(有)岡本商店	向灘 3085-4	22-1391	
小野プロパン	五反田 1-408-1	24-1453	
宮本ガス商会(有)	424-3	24-4500	
菊池プロパン店	71-1	22-1121	
太陽石油販売(株)八幡浜充填所	五反田 2-1423-1	23-1805	
長谷川ガス(株)	八代乙 392-1	22-1614	本社：0895-22-5432